



ありがとう 6年生！

校長 関根 祐一

2月8日（日）の降積雪前後がこの冬の寒さの底になったでしょうか。正に凍てつく厳しい寒さでした。一転、先日の3連休には春一番が吹き、春を飛び越えたのではないかと感じる程の暑さ。連休後の、“季節外れの暖”から“寒”への戻りもまた、身体には堪えるものがあり、実際の気温よりも寒く感じます。

今は、平年並みか平年よりやや高め気温とのこと。確かに、寒いのですが空気の芯には、そこはかたない柔らかさも感じ始めています。



2月9日(月)朝 雪の残る校庭風景

いよいよ3月。卒業、修了の月になります。保護者の皆様には、年度末の授業参観・保護者会に多くのご参加をいただいております。誠にありがとうございます。インフルエンザ等の流行に予断を許さない状況も続き、体調管理が難しいところですが、参観の機会にご覧いただいておりますように、6年生は中学校への進学に向け、5年生から1年生は進級に向けて、学習・生活両面のまとめに一生懸命取り組んでいます。

そうした中、2月18日（水）には「6年生を送る会」が開かれました。学校だよりの別葉に記載のとおり、1～5年生・ひかり学級のみんなが、分担して準備を進め、温かに彩った体育館で感謝とお祝いの気持ちをしっかりと6年生に送りました。6年生のみんなの和やかな笑顔、お祝いの出し物のダンスに振り付けを合わせる姿もとても印象的でした。6年生からも、お礼として美しくそして力強い演奏が披露さ

れ、6年生がもっている最高学年としての高い“自覚と表現力・実行力”のバトンを託してくれているようでした。笑顔一杯のとても素敵な会になりました。

この一年を振り返ると、6年生は所沢小学校のリーダーとして優しくも力強く学校全体を支え、牽引してくれました。所小フェスティバルや修学旅行、運動会等の大きな行事はもとより、委員会活動や縦割り班活動、日々の学習活動・学校生活でも、判断良くけじめをもって行動でき、すべきこと・行うことで皆がより気持ちよく生活できるようになることに進んで取り組んでくれました。特に、学校全体で進めている、おしゃべりせずに行う「黙働清掃」への取組姿勢は本当に立派で、下級生の大きな学びになっています。登校時等での気持ちのよいあいさつも6年生が率先して広め高めてくれました。また、下級生にとっても優しく、笑顔で丁寧に導く姿も素敵でした。優しく頼もしい、皆にとって“憧れ”の6年生。本当にありがとうございました。

卒業までの3月の登校日は卒業証書授与式当日を含めても17日です。一日一日を大切に有意義に過ごしてほしいと願っています。

伝統芸能発表会（2月15日（日））

第16回伝統芸能発表会のステージで所小お囃子クラブが練習の成果を発表しました。重松流の伝統のリズムで、弾けるような高く澄んだ太鼓の音色をミュージアのホールに響かせることができました。

